

協議事項 「はまっこくらぶ・はまっこサポート（仮称）」の立ち上げについて（案）

第1回学校運営協議会で、地域学校協働本部について協議がなされました。地域全体で子どもたちの成長を支える仕組み＝「緩やかなネットワーク」について、「はまっこくらぶ・はまっこサポート」の愛称でつながりを再構築していただけるように、以下の通り提案します。

名称：はまっこくらぶ（塩浜四団地合同子ども会） はまっこサポート（塩浜学園 地域学校協働本部）

目的：学校支援活動、放課後及び休日の活動、地域活動を通して、子どもたちの「学び」と「育ち」を支える。

従来の個別の活動を緩やかなネットワークでつなぐ。子どもを真ん中に据えた組織とする。

運営：事務局として学校運営協議会のメンバー数名が担当する。

※ 学校支援コーディネーター・地域関係者・学校関係者・教育委員会関係者 5～6名程度
（冨家薫・國井絹代・高桑強志・長郷貴史・松井聰・石田清彦）

活動：個別の活動を周知しあい、これまでより参加者・支援者を増やしていく

子ども会のメンバー＋活動への参加者（児童生徒）には、「はまっこくらぶ」のカードを配付する
活動のサポーター（支援者・大人）には、「はまっこサポート」のカードを配付する。

それぞれの活動に参加した証として、活動参加者・支援者に「専用シール」を配付する。

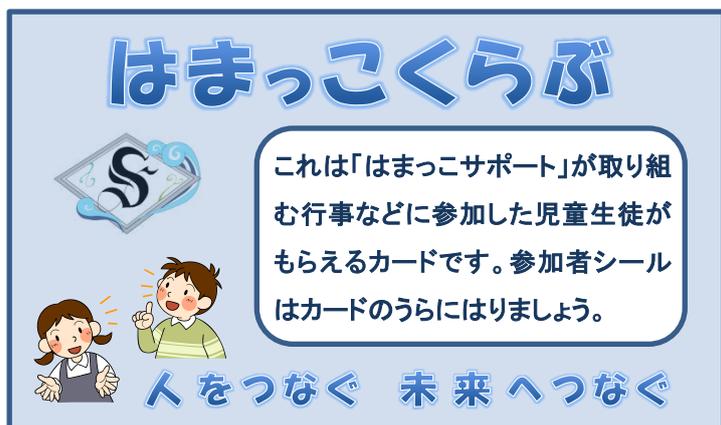
意義：さまざまな活動が「はまっこくらぶ・はまっこサポート」の愛称でネットワーク化され、児童生徒のための活動であることの共通理解が図られる。同じカードを継続的に利用することで活動の継続化は図れる。

効果：①カードを持ち続けることで、「はまっこくらぶ」または「はまっこサポート」のメンバーであることの一
体感が生まれる。

②参加するごとにシールが増えることで、参加者の拡大が見込まれる。

③自治会等の掲示板に専用コーナー等を設置していく可能性が広がる。

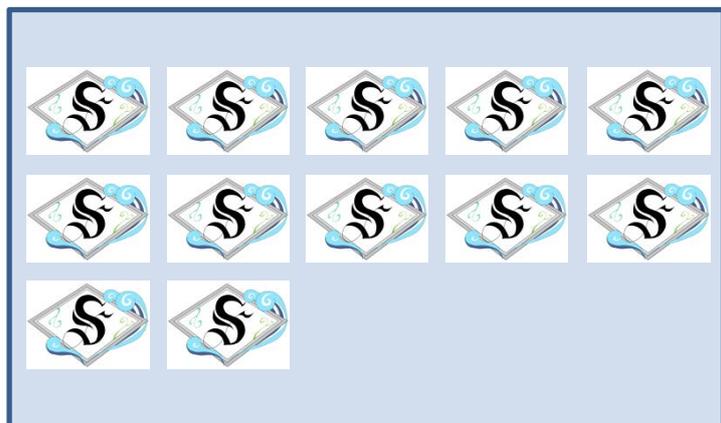
児童生徒用 おもて



大人用 おもて



児童生徒用 うら



児童生徒用カードは、塩浜学園の児童生徒全員に配付する。大人用カードは、各所属団体の構成員全員に配付し、更に、新規参加者用に「予備」を配付する。各催しごとに児童生徒用・大人用の予備カードを準備しておき、当日参加者でカードのない人には配付する。当日参加者全員に、シールを配付する。シールは、15枚ずつはっていき、15枚になったらゴールドカードになる。